

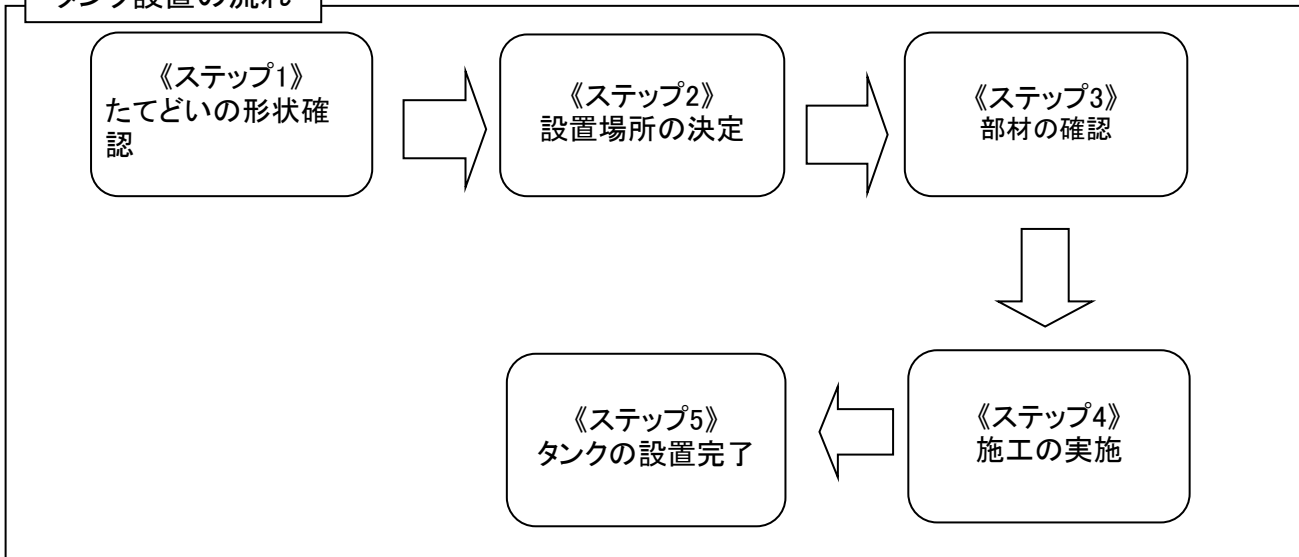
タキロン 雨水貯留タンク 雨音くん 200リットル

— 角たてどいT15専用集水継手仕様 —

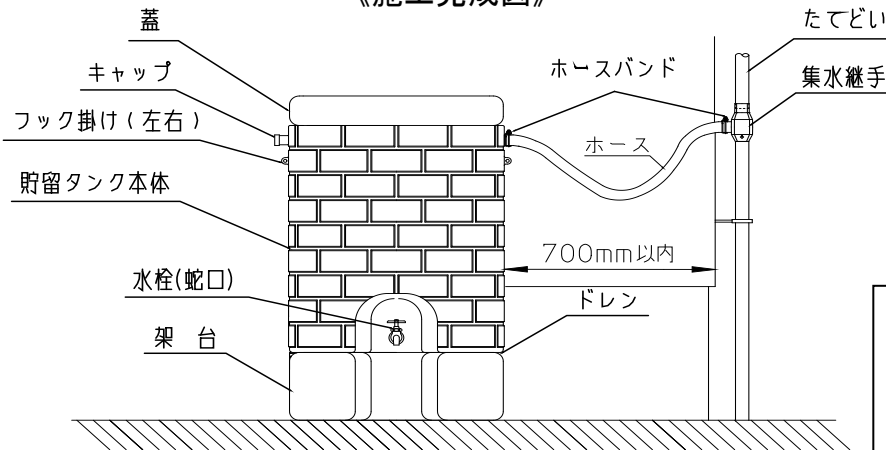
— 施工説明書 —

- この施工説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上で施工ください。
- ここに示した注意事項は、商品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 転倒の恐れがある場合は、タンク本体のフック掛けに転倒防止クサリ(別売)を取り付けてください。
- 別途取扱説明書が付属されておりますので必ずお施主様へお渡しください。

タンク設置の流れ



《施工完成図》



注意

集水継手の位置が適切でない場合、タンク内に雨水が入らない場合やタンクから雨水があふれる事があります。4ページの施工手順をよく読み施工してください。



全体寸法

幅736mm × 奥行き498mm × 高さ1100mm

タンク容量

200L(総容量 約230L)




安全上のご注意

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害が想定される内容です。









 してはいけない「禁止」内容です。	 必ず実行していただく「強制」内容です。
---	--

1. 施工上の注意

警告


 雨水専用	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は雨水専用です。絶対に雨水以外の薬品等を貯留したり、混ぜたりしないでください。 ・薬品等が混入したタンク内の水を誤って飲んだ場合、人体に重大な危害を及ぼす危険性があります。 ・著しい強度低下につながる危険性があり、製品の破損の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクが満水になると重量が約250kgになります。地面の沈下等の恐れがある場合は、必ずコンクリート等の基礎を施してください。 ・タンクの安定が悪い場合は転倒事故の原因となりますので、直ちに水を抜き、使用を中止してください。
	<p>小さなお子様が周辺で遊ぶ箇所に設置する場合は、タンク本体のフック掛け(左右)を利用して転倒防止クサリ(別売)を取り付けるなど転倒防止策を施してください。</p>

注意



	タンクの持ち運び時およびたてどいの切断作業時は、手を保護するために手袋(軍手)を着用してください。
	タンクは重量物(約18kg)です。無理のない姿勢で運搬ならびに作業を行ってください。
	商品に油や洗剤、シンナー等の有機溶剤をこぼした場合、完全にふきとってください。
	指定の部品以外は使用しないでください。
	施工後、ガタつきがないか、キャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
	取扱説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法及びメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●キャップを取付けるときに工具は使用しないでください。 ・製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造などは絶対しないでください。 ・改造やペイントは著しい強度低下につながる危険性があり、製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 保管、取扱い上の注意

警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク周辺で火気を使用しないでください。 火災及び変形の原因となります。
---	--

注意

	商品の取扱いは必ず手袋(軍手)を着用してください。
	<p>タンクは上積みすぎると荷くずれをおこし、ケガをする危険性があります。</p> <p>2段以上は積まないでください。また、横積み状態での保管は避けてください。</p>

《ステップ1》 たてどいの形状確認

・施工可能なたてどいは **タキロン** 角たてどいT15となっております。

その他のたてどいの場合には集水継手・施工方法が異なりますので、施工前にたてどい寸法をご確認ください。

注意 集水継手とたてどいは接着しないでください。メンテナンスが出来なくなります。

《ステップ2》 設置場所の決定

設置場所を決定する際には、以下の点にご注意ください。

- タンクが満水になると重量が約250kgになります。地面の沈下等の恐れがある場合は、コンクリート等の基礎を施してください。
- お子様が遊ぶ周辺への設置の際は、転倒防止クサリ(別売)で家の壁面などにタンクを固定してください。
- 付属ホースの長さは850mmです。たてどいからタンクまでの距離を700mm以内とし、ホースはたてどいからタンクまでの距離の1.2倍の長さとし、余長をもたせて設置してください。

《ステップ3》 部材の確認

施工前に梱包内容の確認を実施してください。万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、購入された販売店様又はタキロンシーアイ(株)までご連絡ください。(連絡先はP.8をご参照ください。)

名称	略図	数量	名称	略図	数量
タンク本体 (架台付)		1セット	集水継手 (キャップ付き)		1個
			ホース (850mm)		1本
ホースバンド		2個	取扱説明書 施工説明書		各1部

備考: 転倒防止用の壁に固定する転倒防止クサリ(別売)をご用意しています。

《ステップ4》 施工の実施

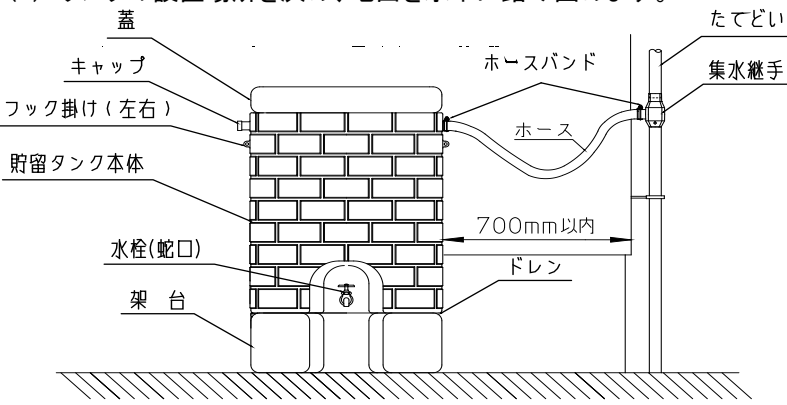
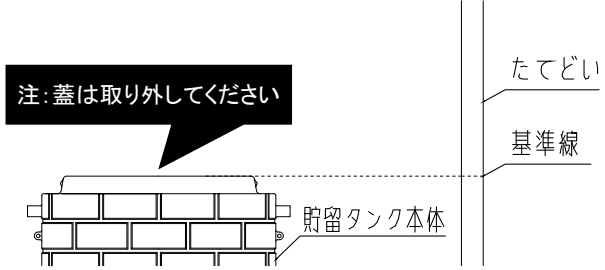
1. 施工の前に

施工時に必要な工具及び部材をタンクの取付け前にご準備ください。

工 具 ・ 部 材		個 数	用 途	
工具	1.	ノコギリ(金切もしくはプラスチック用)	1本	たてどい切断用
	2.	油性マジック	1本	たてどい切断時のマーキング
	3.	メジャー(コンベックス)	1個	たてどい切断基準線の確認
	4.	プラスドライバー	1本	ホースバンド取付け用
	5.	ものさし	1本	たてどい切断位置の寸法測定
	6.	カッターナイフ	1本	たてどい切断後の端面処理
	7.	粘着テープ	1本	たてどい切断時の目安
	8.	手袋(軍手)	1組	作業時の保護具
部材	9.	シリコン系コーキング材	20g程度	取水口とキャップとの止水用

2. 施工手順

以下の取付け手順に従って施工を行ってください。

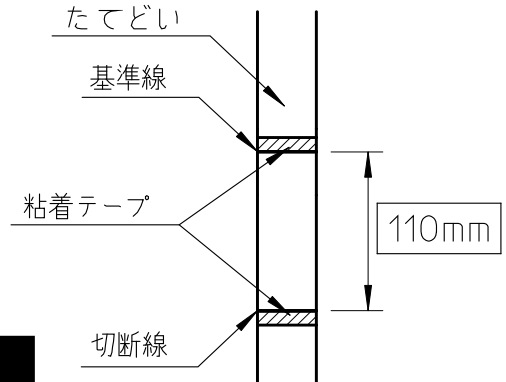
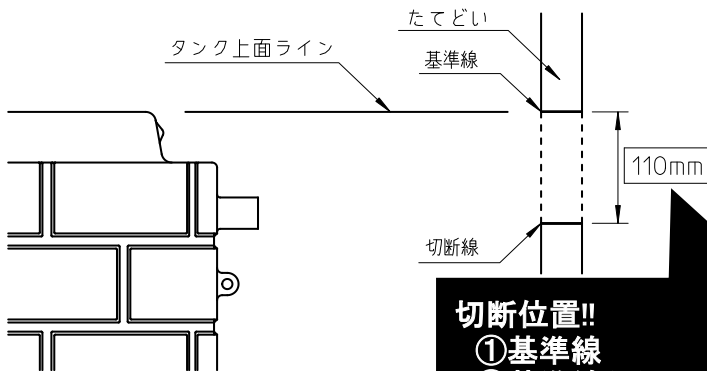
取付け手順	詳細(注意点など)
(1) 蓋を外しタンク本体の内部から付属部品を取り出します。	
(2) タンクの設置場所を決め、地面を水平に踏み固めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水の取水は左右どちらからでも可能です。 ⚠ たてどいからタンクまでの距離は700mm以内とします。 ⚠ タンクが満水になると重量が約250kgになります。地面の沈下等の恐れがある場合は、コンクリート等の基礎を施してください。 ⚠ タンク本体は、満水時にタンク背面が膨らむため、壁面から50mm程度離して設置してください。
(3) たてどいに基準線をつけます。このときタンクの蓋は取り外した状態で行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャー(コンベックス)を用いて、地面からタンク上面までの高さを測定します。次に、たてどいを地面から測定して、タンク上面と同じ高さの位置に、マジックで基準線を印付けます。

取付け手順

詳細(注意点など)

(4) (3)で付けた基準線から**下方**に**110mm**のところに切断ラインを引いてください。
たてどい切断位置は基準線と切断線の2ヶ所となります。

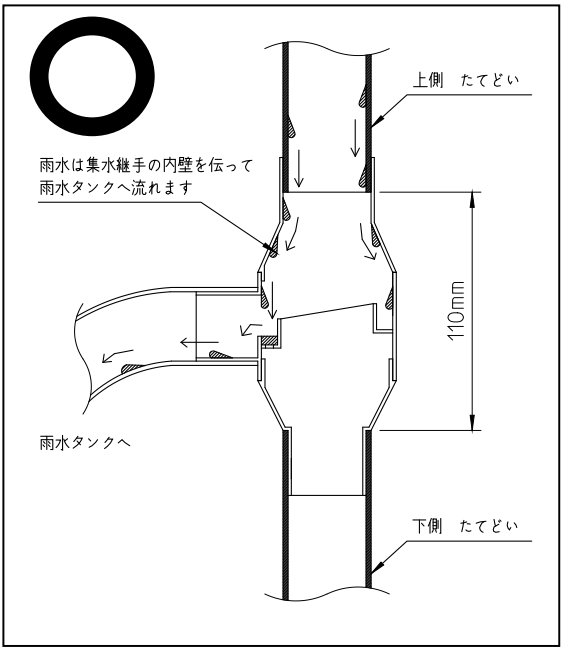
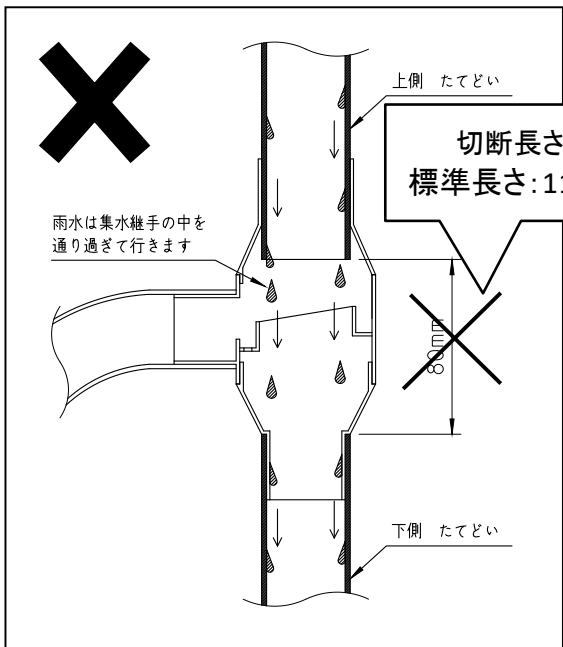
・印を付けた部分にテープを一周貼ると、目安になり切断作業が行い易くなります。



切断位置!!
 ①基準線
 ②基準線から110mm下
 切断線が110±5mmでないと
 タンクに水が溜まりません!!

たてどい切断長さ不足
 (雨水が溜まりません。)

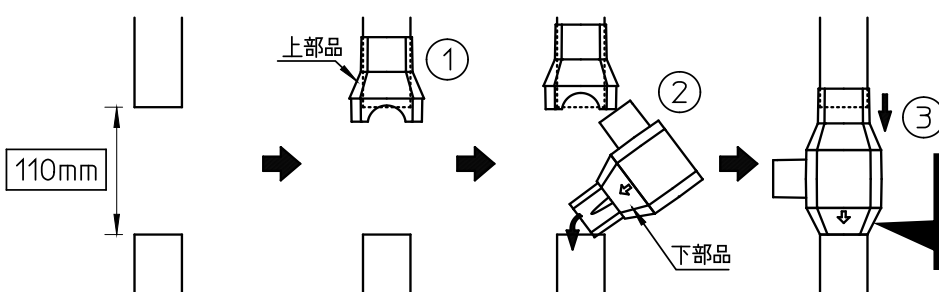
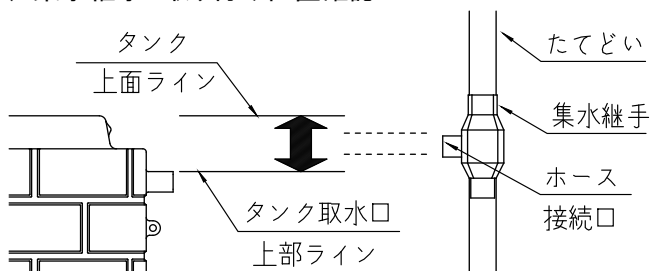
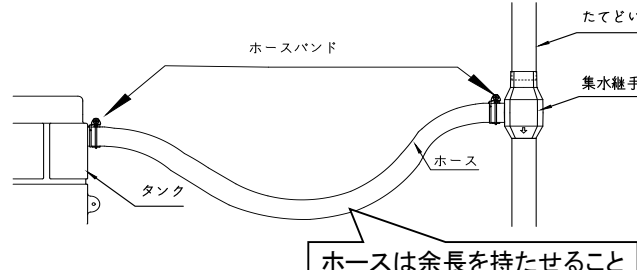
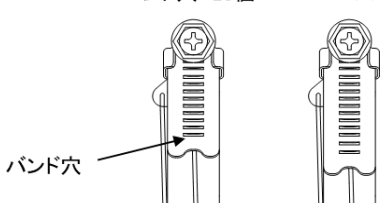
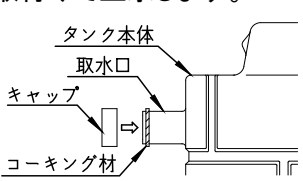
標準施工



重要ポイント!!

たてどいの切断位置を間違えると、タンクが満水になった時に雨水が雨水タンク上部からあふれたり、雨水がタンク内に入らなかったりする不具合が発生します。

⚠ たてどいは水平に切断してください。集水継手が傾き、雨水がタンク側に流れないことがあります。

取付け手順	詳細(注意点など)
<p>(5) 集水継手の取り付けを行います。</p> <p>①上部品を上側たてどいに入れます。</p> <p>②下部品を取付けます。このとき、上部品を上側に移動させ下部品を横から入れ、下げて下側のたてどいにセットします。</p> <p>③上部品を下げ、下部品にしっかりと取り付けます。</p> <p>④集水継手がぐらつくことがないように集水継手の下側のたてどいを壁面などに固定してください。</p> 	<p>・集水継手は掃除できるよう、たてどいと接着しないでください。</p> <p>接着しないでください。メンテナンスが出来なくなります。</p>
<p>(6) 集水継手 取り付け位置確認</p> 	<p>・集水継手のホース接続口の位置が左図の範囲内(タンク上面とタンク取水口上部の間)にあることを確認してください。</p> <p>⚠ 集水継手のホース接続口がタンク上面よりも高い場合、雨水がタンク上面から溢れ、蓋の中に水が入る恐れがあります。タンクの取水口よりも低い場合、雨水が溜まりません。</p>
<p>(7) 集水継手とタンクをホースで連結し、ホースバンドで固定します(2ヶ所)。</p> 	<p>・ホースはたてどいからタンクまでの距離の1.2倍の長さとし、余長を持たせて設置してください。</p> <p>・ホースがねじれたり、折れ曲がったりしないように注意してください。</p> <p>・集水継手が傾かないように施工してください。</p> <p>⚠ ホースが抜けやすいようにホースバンドでしっかりと固定してください。ホースバンドによるホース固定時に通常締め付けを行うとボルトから出るバンド穴が10~12個となります。</p> <p>バンド穴 10個 バンド穴 12個</p> 
<p>(8) ホース接続側と反対側の取水口に、市販のシリコン系コーキング材を全周塗布し、集水継手に付属していたキャップを取付けて止水します。</p> 	<p>・取水口やキャップの汚れや水分を除去してからコーキング材を塗布してください。</p> <p>・はみ出たコーキング材は、ふき取ってください。</p>
<p>(9) 本体に蓋を取り付けて完成です。</p>	<p>・集水継手から水を入れ、タンク底部のドレンなどから水が漏れていないことを確認してください。</p>

ステップ1

ステップ2

ステップ3

ステップ4

ステップ5

ホース延長について

集水継手からタンクまでの距離が離れている場合は、市販のビニルホースをご利用ください。使用するホースのサイズは、下表をご参照ください。

品種	適用ホース内径
雨音くん 200リットル	32mm

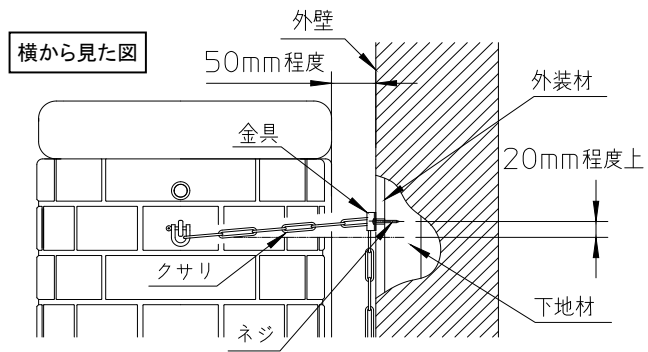
《ステップ5》 タンクの設置完了

施工後、ガタつきがないか、ドレンおよびキャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。以上で施工完了です。

■転倒防止用クサリ(別売)の施工手順

1. 以下の点に注意して、金具の取り付け位置を決定します。(下図参照)

- ① 外壁にネジを打つ場所の外装材裏側に下地材(胴縁または柱など)があること。
- ② 金具の取り付け高さは、タンク本体のフック掛けより20mm程度高く取り付けること。
- ③ クサリは、たわまないようにできるだけ短く取り付けること。ただし、タンクは外壁から50mm程度離すこと。



注意:

クサリが簡単にはずれないように、金具から先のクサリの輪は3個以上必要です。(詳細はP.8「施工手順5.」をご参照ください。)

注意:

クサリのたわみが大きい状態で取り付けした場合、タンクが前傾したときに、タンクのフック掛けが破損してタンクが転倒する恐れがあります。

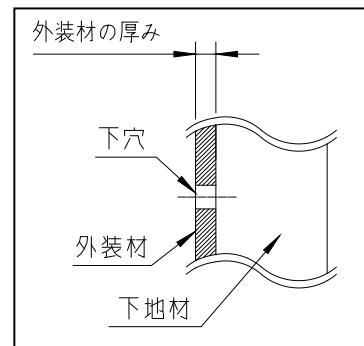
2. 外装材の割れ防止のため、ネジを打つ場所に下穴(φ4.5)を外装材の厚み分だけ開けます。(右図参照)

注意:

外装材に下穴を開けるときは、外装材に無理な力がかからないように注意してください。割れやひびの原因となります。

注意:

タンクをおく予定位置の側面から、水平方向で250mm以内に穴を開けてください。250mm以内にしないと、金具から先のクサリの輪は3個以上確保できなくなります。



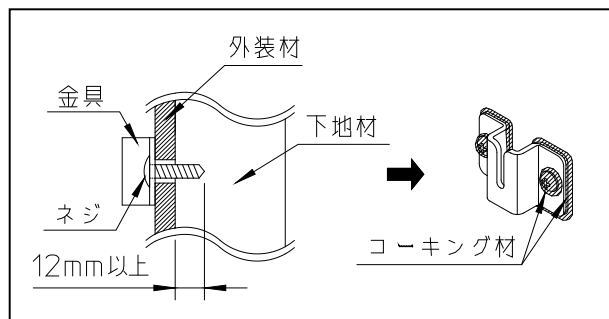
3. 金具を外壁に付属のネジで取り付けてください。(右図参照)

注意:

金具は切り込みのある方が上です。金具の向きに注意して取り付けてください。

注意:

ネジの先端を指に刺したりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。



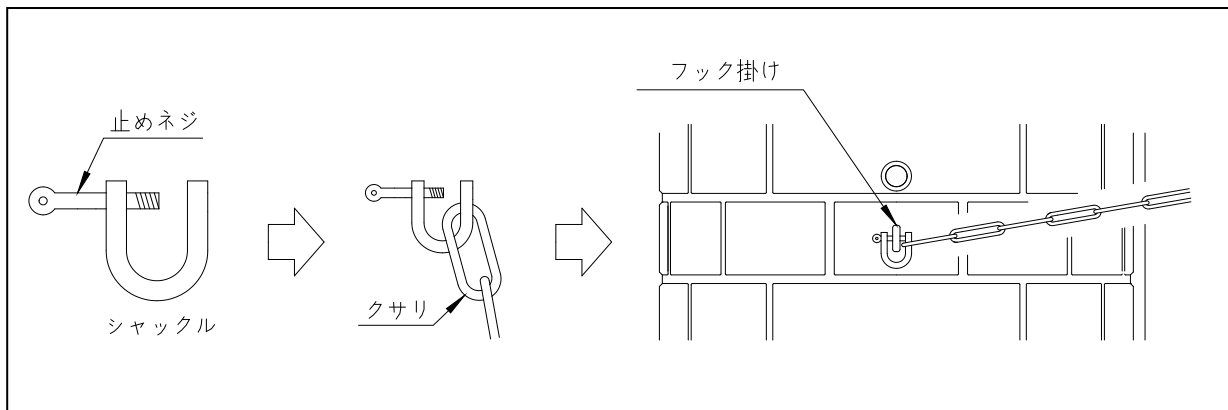
注意:

下地材へのねじ込み長さは12mm以上必要です。ネジを押し当てて、ねじ込み長さが12mm以上余っていることをご確認ください。ねじ込み長さが12mm未満になってしまう場合は、適切な長さのネジ(4mm径)を別途購入してください。

外壁内へ水が入らないように、金具を取り付ける際にはあらかじめネジと金具にコーキング材を塗布して取り付けてください。

■転倒防止用クサリ(別売)の施工手順

4. シャックルの止めネジをはずし、クサリを取り付けた後、タンク本体のフック掛けに止めネジを通し固定します。(下図参照)



5. 金具の切込み部にクサリを引っ掛けてください。
(右図参照)

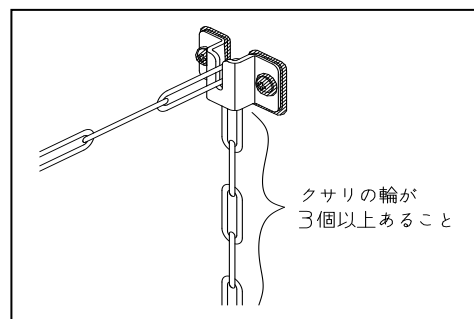
以上で完成です。

注意:

クサリが簡単にはずれないようにするため、金具から先のクサリの輪が3個以上必要です。

3個以上あるか確認してください。3個以上ない場合は、タンクを少し移動させて調整してください。(必ず壁面から50mmは離すこと)。

それでも3個確保できない場合は、金具の取り付け位置を変更してください。



注意:

取付け後は、クサリを手で引張って、金具が壁面から取れないことを十分にご確認ください。

■ご使用上の注意 (施主様へ)

・転倒防止クサリはタンク転倒の危険性を低減するものです。タンクへの荷重のかかり方やクサリの固定状況、地震等の災害によっては転倒する可能性があります。

クサリの取付け後も、絶対にタンクの上に乗ったりぶらさがったりしないでください。

特にお子様にはご注意ください。

・地震などの発生後およびタンク使用時には、クサリを手で引っ張って、壁面の金具取付け部の強度をご確認ください。その際、金具が壁面から取れてしまった場合や取れそうな場合は、壁面の別の場所に再度金具を取り付け直してください。(金具を再取り付けする場合は、施工手順1~5をご参照ください。)

タキロンシーアイ株式会社

■製品に関するお問い合わせ・ご相談は

お客様相談センター

0120-877-115 (受付時間 平日 9:00~17:00)

※土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間中のお問合せは受付していません。

※間違い電話が増えていますので、番号はよくお確かめのうえ、おかけください。

2023年10月改訂版